

文化遺産学・人文知連携センター (CESCHI) とは

Center for Studies of Cultural Heritage
and Inter Humanities

文化遺産学・人文知連携センターは、日本における内陸アジア研究の拠点の役割を果たしてきた文学研究科附属ユーラシア文化研究センター(羽田記念館)と、京都大学構内遺跡の発掘調査・研究を進めてきた文化財総合研究センターを再編・統合しつつ、人文諸分野を横断・総合する研究を進め、その成果を組織的に発信することを目的として、2019年4月に設置されました。

本センターは、「文化遺産学研究施設」と「人文知連携拠点」から構成されています。



吉田南構内で出土した埴輪

羽田記念館

Haneda Memorial Hall

〒606-8501 京都市北区大宮南田尻町 13
電話 075-491-6027

羽田記念館は、我が国における内陸アジア研究の先駆者であり、京大の第12代総長であった羽田亨博士の業績を顕彰し、この分野の研究の進展に資することを目的として、三島海雲財団や武田薬品株式会社などの寄付を得て、1966年に建てられました。内陸アジア・西アジア地域に関する蔵書があり、研究者の利用に供されているほか、講演会や講習会が開かれています。



羽田記念館

文化遺産学・人文知連携センター

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学大学院文学研究科

URL : http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/ceschi/ces-top_page/



京都大学大学院文学研究科附属

文化遺産学・ 人文知連携センター (CESCHI)

CENTER FOR STUDIES OF
CULTURAL HERITAGE AND
INTER HUMANITIES



尊攘堂(京大構内遺跡出土遺物展示施設)

文化遺産学研究施設

Research Center for Studies of Cultural Heritage

文化遺産学研究施設は、前身の両センターの活動実績を継承しつつ、日本国内のみならず、世界各地の文化遺産の保存・活用に関わる研究を広く展開していくことを目的とし、以下の4部門から構成されています。

■比較文化遺産学創成部門

Section of Comparative Studies of Cultural Heritage

比較史の視点や方法を用いて、国内・国外の文化遺産に関わる諸問題を研究し、その成果をもとに文化遺産の保存・活用に対する連携・提言を進めます。

■京大文化遺産調査活用部門

Section of Archaeological Heritage Management for KU

京大構内遺跡の発掘調査とその整理・検討を進め、その成果を京大独自の文化遺産として多角的に活用・発信することを目指します。



吉田南構内の発掘風景

■内陸アジア学推進部門

Section of Inner Asian Studies

羽田記念館で蓄積されてきた多様な学知と資料をもとに、内陸アジア学の研究を進め、その成果を講演会・講習会などを通して公開していきます。

■ユーラシア宗教遺産学部門

Section of Eurasian Religious Heritage Studies

宗教を有形・無形の文化遺産として捉える「宗教遺産学」の研究法を用いて、ユーラシアの諸宗教の比較研究を進めます。

人文知連携拠点

The Innovative Hub of Inter Humanities

人文知連携拠点は、文化遺産学研究施設の調査研究成果をはじめとして、文学研究科の諸専修が蓄積してきた研究成果を横断的に連携させることを通して、新しい学知の創造を目指します。また、学内外諸機関との連携を強化しつつ、人文知の成果を広く社会に発信することを目指します。



羽田亨博士収集 西域出土文献写真



瞻星台(大韓民国)